

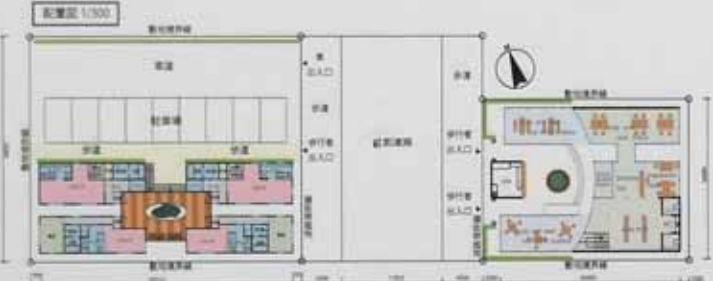
空き家をつなぐ ～新庄商店街 second season～

山形県立新庄神宮産業高等学校
秋保伸弥 阿部竜生 大塚日和
奥山紗希 小野瑞唯 須藤樹

空き家と空き家がつながる 商店街と地域住民がつながる

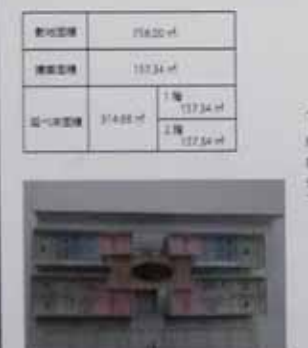
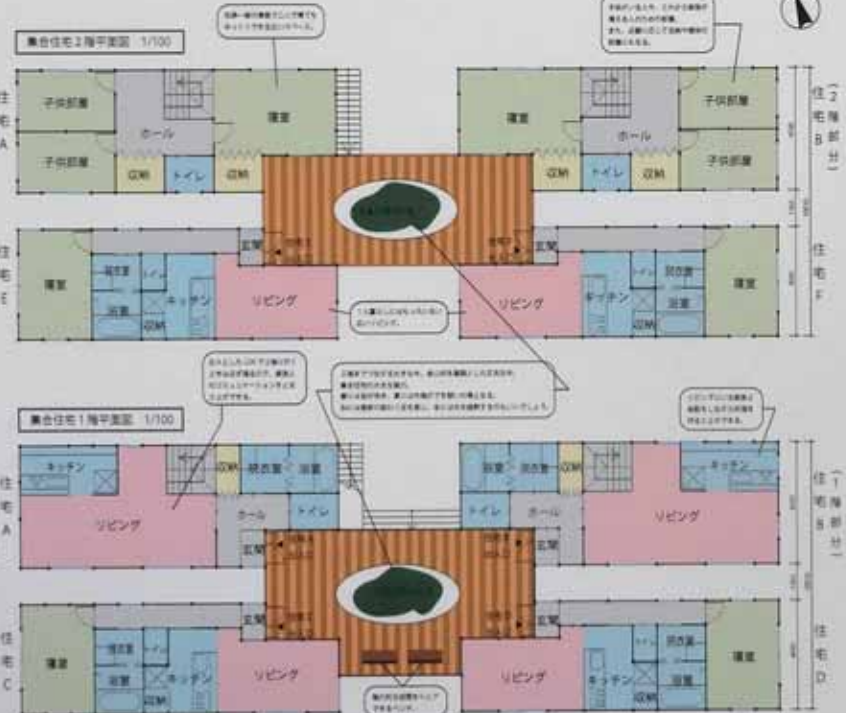
提案概要

こんにちは！
私達の学校所在地の山形県新庄市には、後述がある。1980年代までは農上地域の中心地であり集落が多く、沢山の商店街が軒を連ね、賑わっていた。しかし新庄の集落にハイパスが架通した頃より、駐車場を提供した郊外大型店舗により、商店街への客足が減った。
そこで私達は商店街の空き家となった店舗をつなぎ新しい建物を作り変えることで、地域の人々と商店街のつながりが復活し、新庄商店街の second season を実現されるのではないかと考えた。



集合住宅

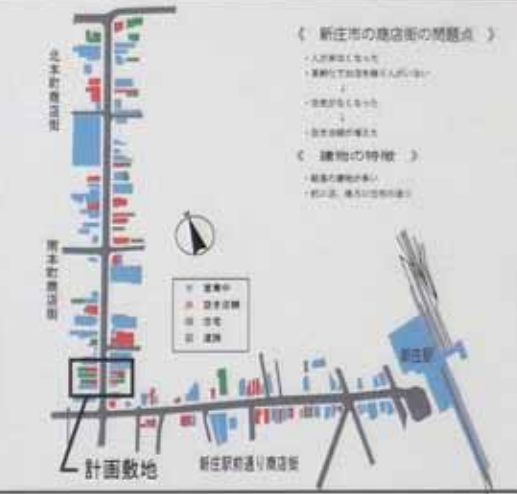
【概要】
- 総棟数3棟を設計した集合住宅。1LDKの部屋と2LDKの部屋が2階建てのみ。駐車場スペースも確保してある。
【目的】
- 商店街の空き家と空家を繋ぎ、商店街とまじり合うことが出来る。
- 空き店舗と空家が混在していた商店街に魅力のある集合住宅を建設することで近隣の住民と新しいつながりによる新しい地域を創出する。
【魅力】
- コミュニティスペースの中心に大きな水辺とベンチがある。住民間でコミュニケーションの場が生まれやすい環境である。
- 新築なので、空調なども便利。
- 水辺デザインとして設計しており、景観としても美しい空間になる。



敷地面積	216.00㎡
建築面積	157.34㎡
延べ床面積	1階 137.34㎡ 2階 137.34㎡

敷地近隣図 (新庄市駅前商店街)

山形県新庄市は県内の北部に位置する地域です。駅前街から南北の幹線で続く商店街を題材として、利用者が減った商店街にある空き店舗を利用し集落ができるような新しい商店街作りを取り組んでみました。商店街が衰えていた当時は、日用品を揃えるために郊外から多くの客が訪れていましたが時代が流れていくにつれ、郊外には大型の駐車場を備えたスーパーマーケットや家電量販店が増え、商店街の客足が減っていました。交通手段の発達により、車での移動が多くなり、駐車場がない商店街は郊外に比べて不便に感じます。現在でも商店街には多くの住民が居るにも関わらず閑静な場所となっています。ここでは、駅前通りや駅前100円商店街といった行事が多くて人が集まりますが、商店街本来の機能が衰えています。自然に人が集まるような場所や店舗を作り、一刻も早くこの閑静な商店街を活性化し新庄市全体が活気が出るようになりたいと考えています。



図書館+カフェ

【目的】
- 読書と集まりの場をつくることで、カフェを併設した図書館。本を読みながら飲み物も飲める。勉強をしたリ本を読むスペース、お喋りするスペースが設けられている。
【目的】
- 町の活性化に繋がる。
- 市内に図書館が少ないから。
- 若者や女性でもくつろげる場所がほしいから。
【魅力】
- 知識にも集まりでも、カフェでくつろぐことのできる。
- 1人1人がその空間でそれぞれの時間を過ごすことのできる。

敷地面積	437㎡
建築面積	294㎡
のべ床面積	1階 162㎡ 2階 228㎡

